

研究者名：菅原 香織（美術教育センター 准教授）

研究課題名：八郎潟・八郎湖の自然・文化・景観を活用したエコミュージアムの構築条件に関する研究

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：令和6年度～令和9年度

【研究概要】

八郎潟は干拓によって豊かな自然と生業の文化的景観を失った。本研究は国の開発行為によって失われた地域本来の価値を掘り起こし、正しく評価し、護り、次世代へと継承していく活動の様相こそが新たな文化的景観になりうるという認識に立ち、地域全体を博物館とするエコミュージアムをデザインすることを目的とする。八郎潟・八郎湖の生業や文化を伝える潟船や漁ろう用具・景観・自然など、地域に埋もれた「お宝」を発掘し、文化財としての価値を再評価し、活用法の検討を通じて、エコミュージアム構築に必要な要件を明らかにしたのち、エコミュージアム基本構想としてまとめ、流域の自治体、NPO 団体、住民、民間企業等に向けて提示をする。